

木版画・野鳥写真、古里せたな町に今輝く

望郷二人展

版画家 **佐藤国男**



昭和42年北檜山中学校卒業。手先の器用さを生かして函館に於いて大工の道へ進む。幼少の頃より卓越していた絵画を趣味としていたが棟方志功に影響され版画の世界へ没頭する。折りしも宮沢賢治生誕100年を機に多忙を極め本職の大工職を離れプロの版画家に転向する。一風変わった感性と食欲なまでの探究心が人々を魅了する。現在全国的に活動を展開しているプロの版画家である。

写真家 **猪口 卓**



昭和42年北檜山中学校卒業。札幌市役所に就職後、野鳥に魅せられアマチュア・カメラマンとして野鳥の撮影を始める。野幌原始林やウトナイ湖などを中心に野鳥の撮影を続けていたが、平成8年に初めてオーストラリアで海外の野鳥を撮影したのをきっかけに、近年は海外での撮影を中心に活動している。マレーシア、オーストラリア、コスタリカ、エクアドル、など12ヶ国46回に及び、8月にはアフリカのケニアへ撮影旅行に行く予定。

「野鳥との出会いによる感動を作品として表現したい」
もしかしたら、二度と会うことがないかも知れないそれらの

日時 8月12日（日）～8月19日（日）

午前10時～午後7時まで

場所 せたな町情報センター (Tel 84-5342)

主催 望郷二人展実行委員会

後援 せたな町教育委員会